

1 単元名「私たちのこれからを考えよう～国境なき大陸 南極」

2 単元について

第 6 学年の児童はこれまで説明的文章領域において、文章から「筆者の構成や表現の意図」「読み手に与える効果」を捉えたり、それについての考えをまとめたりする活動を行ってきた。その中で、文章の概要を的確に捉えたり、筆者や読み手の立場から意図や効果を探ったりすることができるようになってきている反面、自分の考えを明確にしながら表現することにおいてはまだ課題がある。そこで、本単元では、指導事項オ「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」を重点とし、それを達成するために、自己の「生き方・考え方」について意見文「12歳の主張」で発信する言語活動を位置付けることとした。本単元で扱う中心教材「国境なき大陸 南極」(学校図書 6 年生下巻)では、「筆者の長年の経験からの生き方・考え方」を読み取ることができ、児童が自分なりの生き方・考え方と比較しながら、考えをまとめていくことができるように単元をデザインしていく。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

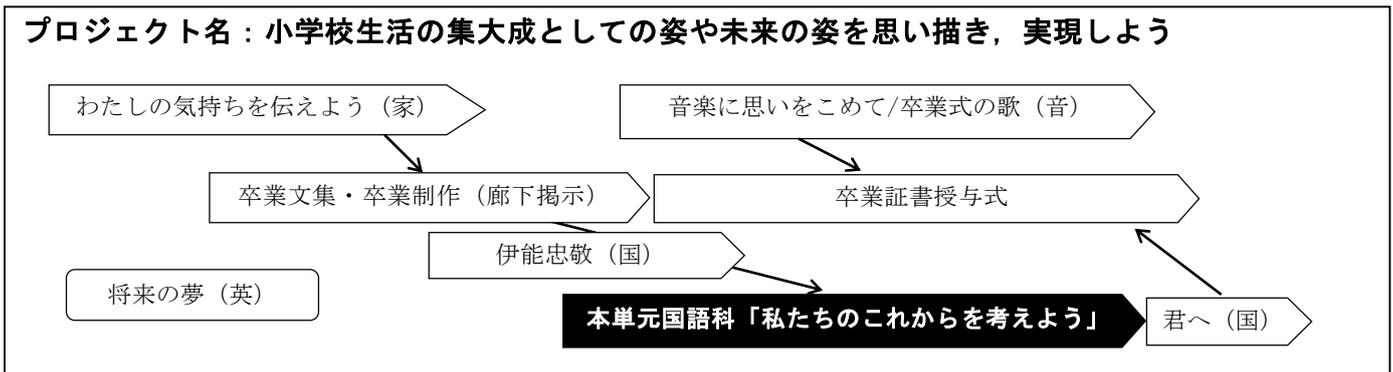
自己の生き方・考え方を探るために、関連する複数の文章を読む言語活動を通して、文章を読んで理解した事柄を既知の知識と結び付けながら、自分の考えをまとめること。

(中心となる指導事項オ 関わる言語活動例ア)

(2) 単元の評価規準

| 知識及び技能 | 思考力, 判断力, 表現力等 | 学びに向かう力, 人間性等 |
|---|---|------------------------------------|
| ア 複数の文章を比較しながら意見文で表現するための語彙を豊かにしながら読んでいる。 | ア 複数の文章の大まかな内容を捉えながら、自分の考えをもっている。 イ 筆者の意見に着目しながら、自己の生き方・考え方について、立場やその根拠を明確にして読んでいる。 ウ 題名と筆者の関係性に着目しながら、自己の生き方・考え方について、立場やその根拠を明確にして読んでいる。 | ア 課題を解決する見通しをもちながら、文章の特徴を読もうとしている。 |

4 学級・学年経営年間プログラムとのかかわり



5 本単元において育みたい資質・能力

本単元においては「卒業に向けた取組を核として、仲間と積み重ねた活動を振り返り、一人一人のよさを認め、社会の在り方や自分自身の生き方を見直し、互いに支え合い、高め合うことの価値を自覚する姿」を目指していく。本単元では、自己と他者(筆者)とのかかわりの中で自分事として「生き方・考え方」を見つめ直していくことができるように、自己と他者を比較して考えを広げ、深めることの必要性を前単元までに実感できるようにしている。

意見文「12歳の主張」について

○自分がこれまで生きてきて大切だと思う「生き方・考え方」についての意見をまとめる

(例) 物事への責任感をもつ：学校行事の経験を根拠に 思いやりの心をもつ：児童会活動の経験を根拠に

○卒業式に向けた教室・廊下掲示にする(相手意識：保護者・先生) ※ポスター形式にして思い出の写真を添付

6 単元計画（全6時間）

| | ○子供の主な学習活動 □教師の主な働きかけ 子供の思考 | 評価 |
|-------------|--|-----------|
| 1 | <p>○意見文を書くために必要なことを考える。</p> <p>□意見文の試し執筆を促す</p> <p>・自分の「生き方・考え方」について整理できていないから、うまく書けないよ。</p> <p>・「生き方・考え方」について書きたいことはあるけど、何を根拠にすればよいのかな。</p> <p>□相手の心に届く意見文を書くためには何が必要かを問う</p> <p>・自分の「生き方・考え方」についてもっと考える時間が必要だよ。</p> <p>・様々な人の「生き方・考え方」を知ったり、自分と比べたりするとよいと思うな。</p> | 学ア |
| 2 | <p>○学習の見通しをもつ。</p> <p>□単元の計画やその意味を共有する</p> <p>・様々な人の本を読み比べてみよう。自分の考えに近かったり、参考になるものがあったりすると思う。</p> <p>・自分の考えが広がってきたら、下書きをして学年の仲間で推敲しよう。</p> <p>・意見文にまとめて、廊下に掲示しよう。</p> <p>○複数の作品を読み比べる。</p> <p>□文章の概要を捉え、自分の「生き方・考え方」との比較を促す</p> <p>・「国境なき大陸 南極」（以下、中心教材）の筆者の「生き方・考え方」がとても魅力的だよ。</p> <p>・「人類よ 宇宙人になれ」の筆者も意見文の参考になりそうだな。</p> | 思ア |
| 3 本 時 | <p>○中心教材を読み、筆者の「生き方・考え方」を捉えながら、自分の考えを整理する。</p> <p>□筆者が大切にしている「生き方・考え方」を問う</p> <p>・本文をじっくり読み返して考えたいな。</p> <p>・考えをまとめて自分の意見文に生かしていこう。</p> <p>□筆者と自己の「生き方・考え方」を比較し、考えをまとめる</p> <p>・筆者と自分の考えには多くの共通点があったよ。</p> <p>・もう少し意見文のイメージを広げるには、他の文章も読んでみる必要がありそうだな。</p> | 思イ |
| 4 | <p>○中心教材や並行読書教材を再度読み返しながら、自己の「生き方・考え方」について整理する。</p> <p>□題名と筆者の意見の関係性を問う。</p> <p>・柴田鉄治さんは「国境なき大陸 南極」（題名）を使って、地球規模の平和について訴えていたね。</p> <p>・題名と本文を結び付けながら、他の筆者の「生き方・考え方」についても詳しく読み取っていこう。</p> | 思ウ |
| 5 | <p>○意見文の下書きを完成させ、仲間と推敲する。</p> <p>・理想とする「生き方・考え方」は人によってこんなに違うんだね。</p> <p>・同じような「生き方・考え方」について書こうとしていても、それぞれの根拠が異なっているんだね。</p> | 知技ア 学ア |
| 6 | <p>○意見文（本番）を完成させる。</p> <p>□始めに書いた意見文との比較を促し、単元を通しての学びの意味付けを行う</p> <p>・複数の筆者の文章を読むことで、自分自身の考えやその根拠をはっきりさせることができたよ。</p> <p>・自分たちで書いた意見文を、いつも支えてくれている保護者の方々やお世話になった先生方に見てもらおう。</p> | 知技ア |

7 本時について (3 / 6 時間目)

(1) 本時の目標

筆者の意見についての考えを述べ合う活動を通して、筆者と自己の「生き方・考え方」を比較しながら立場や根拠を明確にして読むことができる。

(2) 本時の展開

| <input type="checkbox"/> 教師の主な働きかけ・ 手立て ○ 子供の主な学習活動 子供の思考 | 【評価】 個に応じた指導 (▲) |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 空所の提示 筆者が大切にしている「生き方・考え方」は <input type="text"/> ? ということである。 ○ 前時の読みを基に空所に入る言葉を予想し、課題を立てる。 | |
| ・どのような言葉が適切かな？じっくり読みなおしたらわかりそうだけど、今ははっきりしないな。 ・筆者の「生き方・考え方」がはっきり読み取ることができれば、自分たちの意見文に生かせそうだよ。 | |
| 筆者の「生き方・考え方」を探り、意見文に生かそう | |
| <input type="checkbox"/> 個人思考 ：本文を読み直し、空所に入る言葉とその理由を記述する。 | |
| 〔鍵となる文章のみに着目している思考の例〕 ・『地球上から戦争をなくし、地球環境を守るためには、世界中の人々が自分の生活や自分の国のことばかり考えず、地球全体のことを考えるようになることが大事です。』という文に筆者の「生き方・考え方」が表れていそうだよ。 | 【思イ～ワークシート】 |
| 〔鍵となる文章についての解釈をしている思考の例〕 ・『世界中の人が、「愛国心」ではなく、「愛地球心」を持てば、地球も人類も、その未来が開けるはずです。』という文からは、今だけではなく将来を考えながら広い視野をもって行動することを大切にしていることがわかるよ。 | ▲活動が停滞している児童には、鍵となる文章にサイドラインを引いていくように促す。 |
| 〔複数の文章から共通性を解釈している思考の例〕 ・強い心をもって理想を追い続けようとする「生き方・考え方」がいくつかの部分から読み取れるよ。 | |
| <input type="checkbox"/> 全体交流 ：自分と他者の意見の共通点や相違点を話し合う。 | |
| <input type="checkbox"/> 考えやその根拠の共通点や相違点を問う。～★ | |
| ・みんなが注目した文章を並べてみると、“相手の立場”を大切に物事を考えていこうとする「生き方・考え方」が表れているところがたくさんあるよ。 ・「その理想像に向かって前進すれば、地球環境の危機も平和の危機も救われるにちがいないと、私は思っています。」という文章から“理想を追い求め続ける”筆者の「生き方・考え方」を読み取った人が多いね。 ・“人と人とのつながり合いを大切にする”考えは自分が大切だと思う「生き方・考え方」に近いよ。 | 【思イ～発言】 |
| <input type="checkbox"/> 交流した内容を振り返り、筆者の「生き方・考え方」について再度問う。 | |
| <input type="checkbox"/> 筆者の「生き方・考え方」を一文でまとめ、学びを整理する。 | |
| ・みんなの話聞いたら、最初の考えと変わったよ。 ・詳しく読むことで、前回読んだときよりも筆者の「生き方・考え方」がはっきりわかったよ。 | ▲変更していく具体的な言葉（意見文 Before）に着目できていない児童には、板書を参考に視点を整理できるようにする。 |
| <input type="checkbox"/> 板書（視覚的な情報）を基に、筆者と自己の「生き方・考え方」の比較を促す。 | |
| <input type="checkbox"/> 本時を振り返りながら、意見文の構成メモに考えを記述する。 | |
| ・筆者と自分が目指す「生き方・考え方」とは共通しているところが多くあったな。筆者の考えをヒントに意見文のイメージをもっと広げていこう。 | |
| ・筆者は「南極での経験」を例に語っていたけど、自分は「学校行事」を想像しながら「生き方・考え方」を伝えるようかな。 | |
| ・自分が目指す「生き方・考え方」とは違ったけど、筆者の「理想を追い求めようとする姿」には共感できたよ。自分とは異なる考えと比較しても、意見文のイメージが広がることがわかったから、もっと様々な人の文章を読んでいきたいな。 | 【思イ～ワークシート】 |

